



教 成 館

関小だより

【学校教育目標】

- よく学び工夫する子ども
- 健康で明るい子ども
- きまりを守り、助け合う子ども
- 責任をもちやりぬく子ども

誰かのために、今自分ができるところを！

～自分たちにできる身近なボランティア～

一関小学校では、11月、総合的な学習の中で3年生がボランティアについて学習をしました。ボランティアについて調べたりボランティアをしている方のお話を聞いたりした後、実際に自分たちで計画を



【階段下の床磨き】

立ててボランティア活動を行いました。子供たちが考えたボランティアは、廊下掃除や床磨き、図書室の本の整理や飾りづくり、1年生との遊びや学習のお世話、読み聞かせ、校舎の飾りづくり、学校生活に関わるポスターの作成、落ち葉やごみや石拾い等々、実に様々です。中には朝校門で、一斉おはよう day のようにあいさつ運動に取り組むグループもありました。



【1年生への読み聞かせの練習】

どの活動にも共通するのは、「誰かのために今自分ができるところをやり誰かが喜んでくれることが自分の喜びになること」です。これは、本校が目指す「明るく、助け合う子



【子供たちによるミニおはようday】

ども」にも通じます。一関小学校の子供たちの中には、どんな小さなことでも、よいと思ったことを進んで行う子が増えていることを感じます。ボランティアの心が校内に益々広がっていくことを期待しています。



【気持ちよく生活するためのポスター作成】

良いことをたくさん見つける「ぽかぽか運動」

今、全校で「ぽかぽか運動」に取り組んでいます。この取組は、毎日の学校生活の中で「見つけた良い行い」「誰かにされて気持ちが良かった行い」等を付箋に書いて貼って、「ぽかぽか運動」の綺麗な花火を咲かせようというものです。各学年の子供たちが通る廊下や階段の壁に貼られた台紙は、色とりどりの紙でいっぱいです。

どんなことが書いてあるのか見てみると、「困っている時に手伝ってくれた」「□□を貸してくれた」「分からないところを教えてくれた」「鉛筆を拾ってくれた」「忙しい時に代わりにやってくれた」「ドアを開けてくれた」「席を譲ってくれた」等々、その様子が目に浮かび読んでみると温かい気持ちになります。正に、「ぽかぽか運動」です。

「ちょっとした気配り」は見ていてもされても気持ちのよいものです。そのことを、様々な場で気付かせるとともに、実行できる子を育てていきたいと思ひます。

